

第2章

都市づくりの目標

第2章 都市づくりの目標

1. 都市の将来像

第5次斑鳩町総合計画では、「安全・安心、快適にらせるまち」「子どもから高齢者まで笑顔が輝くまち」「歴史文化資源を生かし、活力とにぎわいのあるまち」をまちづくりの基本的考え方とし、まちの将来像として、『「和」で紡ぎ 未来へ歩む 私たちの斑鳩』を掲げています。

これは、先人たちから受け継いできた聖徳太子の「和」の精神をもって、住民一人ひとりが、多様な価値観を尊重しながら、世代を超えて支え合い、未来へ歩いていくまち「斑鳩」を本町の将来像とするものであり、そのためには、「人」、「歴史文化」、「自然」といった「私たちの斑鳩」だけが持つ魅力、財産を生かし、横断的かつ戦略的な施策展開をはかることで、「住み続けたいまち」、「住んでみたいまち」、「訪れたいまち」の実現をめざすものです。

これを受け、本計画で定める都市の将来像は、第5次斑鳩町総合計画で掲げるとおり、『「和」で紡ぎ 未来へ歩む 私たちの斑鳩』とします。

都市の将来像

『「和」で紡ぎ 未来へ歩む 私たちの斑鳩』

2. 都市づくりの目標

都市の将来像の実現にむけ、本町が持つ豊かな歴史的・文化的資源や自然環境、良好な景観を生かし、次の3つを都市づくりの目標として掲げます。

これらの目標を実現するため、住民、事業者、行政が互いに協働してまちづくりをすすめることにより、子どもから高齢者まで安全・安心、快適に暮らせ、活力とにぎわいのあるまちをめざします。

(1) 自然と共に生きる安全・安心で環境にやさしいまち

矢田丘陵や三室山の緑、竜田川、富雄川や大和川、ため池の水辺など、斑鳩町においては身近に豊かな自然と触れ合うことができます。こうした豊かな自然を住民、事業者、行政がともに守り育てる取組みをすすめるとともに、自助・共助・公助の連携、ハード・ソフト両面における防災・減災対策、感染症対策に取組み、安全・安心なまちづくりをすすめます。また、「斑鳩まほろば宣言・推進計画」に基づき、総合的・計画的にごみの減量化・資源化対策をはかり、ごみゼロのまちづくりをすすめます。

(2) 斑鳩らしい景観とコンパクトで質の高い都市機能を備えたまち

矢田丘陵の山並みを背景に、田園風景の中に社寺や古墳が点在し、歴史的町並みや古くからの集落が一体となって形成された「斑鳩の里」と称される独自の景観を保全します。また、快適な生活基盤の整備をすすめるとともに、多様で魅力ある拠点における都市機能の集積とそれらをつなぐネットワークの強化によって利便性や移動環境の充実に取り組むなど、子どもから高齢者まで誰もが住みよい都市機能の充実をはかります。

(3) 悠久の歴史と文化を守り、魅力に満ちた活力あるまち

長い年月の積み重ねにより育まれてきた豊かな歴史と文化がくらしの中に多様に存在する本町の独自性を生かし、斑鳩町に住むことを誇りに思えるような魅力あるまちを創り出します。また、従来の社寺を中心とした観光に加えて、斑鳩町を訪れる人々が、歴史的魅力にふれることができるよう、まちあるき観光を充実させるとともに観光資源のネットワーク化をすすめ、人が集まり活気があふれるまちづくりをすすめます。

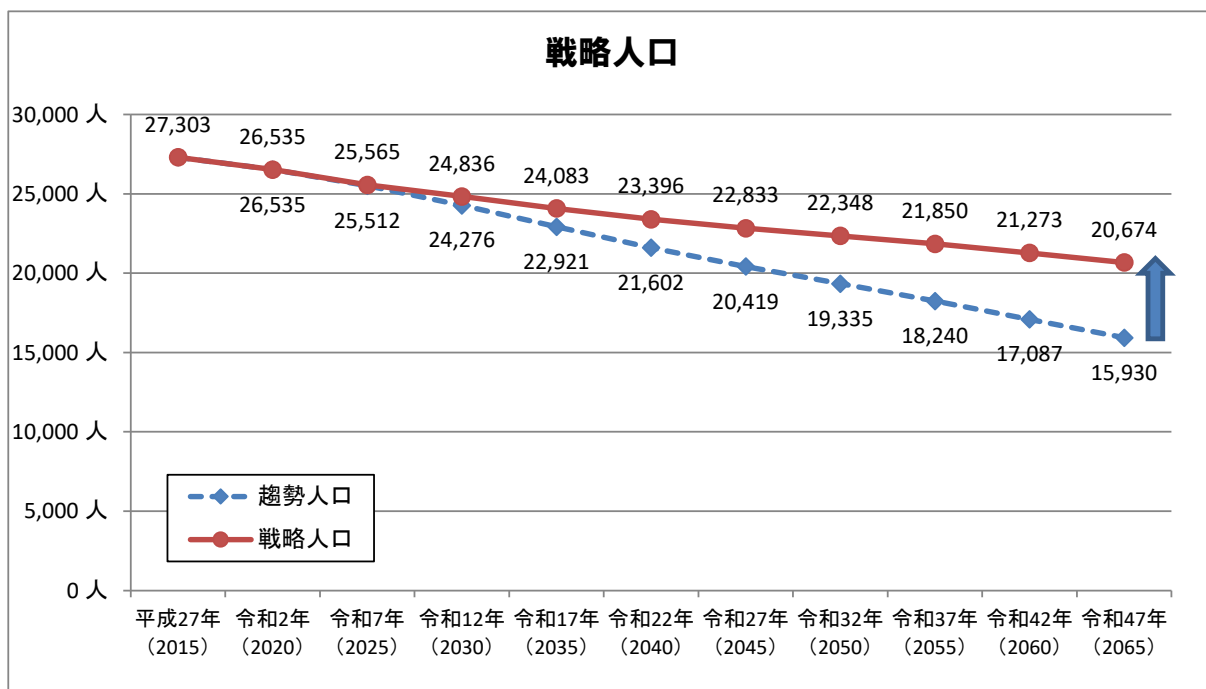
3. 将来展望人口

将来展望人口は、今後の都市づくりの目標の前提となる重要なフレーム（枠組み）です。斑鳩町の人口は減少傾向にあり、全国と同様に少子高齢化がすすんでいます。

国立社会保障・人口問題研究所が平成30（2018）年3月に公表した推計では、令和47（2065）年における本町の人口は約16,000人になることが予測されています。

第5次斑鳩町総合計画および第2期斑鳩町人口ビジョンでは、本町の持続的・安定的な町政運営の観点やにぎわいと魅力のあるまちづくりをすすめていく観点などから、今後は、少子化対策や転入・定住の促進等の取組みにより、人口減少の抑制をはかるものとして、令和47（2065）年において20,700人程度の人口規模をめざす戦略人口（本計画の目標年次である令和12（2030）年には24,800人程度）を設定しています。

こうしたことから、本計画の目標年次である令和12（2030）年度における本町の将来人口は、第5次斑鳩町総合計画と同じく、24,800人と想定します。



資料：第2期斑鳩町人口ビジョン

(単位：人)

	平成27年(2015)	令和2年(2020)	令和7年(2025)	令和12年(2030)	令和17年(2035)	令和22年(2040)	令和27年(2045)	令和32年(2050)	令和37年(2055)	令和42年(2060)	令和47年(2065)
趨勢人口	27,303	26,535	25,512	24,276	22,921	21,602	20,419	19,335	18,240	17,087	15,930
戦略人口	27,303	26,535	25,565	24,836	24,083	23,396	22,833	22,348	21,850	21,273	20,674
戦略効果(戦略人口-趨勢人口)		0	53	561	1,163	1,794	2,414	3,013	3,610	4,185	4,744

4. 都市構造

都市構造とは、現状の土地利用や交通体系をふまえて、将来の望ましい都市機能の配置を空間的、概念的に示すものです。

本計画においては、都市づくりの目標の実現にむけ、次のように「多様で魅力ある拠点」と「拠点を結ぶネットワーク」を設定し、都市構造の充実をめざします。

(1) 多様で魅力ある拠点

都市づくりをすすめるうえで、歴史・自然、生活・文化などの面から重要な機能を担う地区や施設を、多様で魅力ある拠点として定めます。

多様で魅力ある拠点のうち、世界遺産に登録されている法隆寺を中心に歴史的・文化的資源が集積している「法隆寺周辺地区」および斑鳩の里の玄関口として多くの人が行き交い、まちの顔とも言える「JR法隆寺駅周辺地区」を、主要拠点として定めます。

また、このほかの多様で魅力ある拠点は、「歴史・自然拠点」、「生活・文化拠点」に区分し定めます。

◆主要拠点

主要拠点については、既存施設を中心に、地区の特性を生かした都市機能の充実や環境整備をすすめ、魅力ある市街地環境の形成をはかります。

名 称	拠点に含まれる要素	主な都市機能
①法隆寺周辺地区	法隆寺とその裏山、中宮寺 西里、東里の町並み 法隆寺門前周辺の店舗 法隆寺 i センター 法隆寺観光自動車駐車場 レンタサイクル、史跡藤ノ木古墳 斑鳩文化財センター	歴史・文化拠点 観光拠点、交流拠点 生活拠点
②JR法隆寺駅周辺地区	JR法隆寺駅、駅前広場、バス停 タクシー乗降場、レンタサイクル 法隆寺駅北口自転車等駐車場 駅前北口商店街、観光案内所	交通拠点、観光拠点 交流拠点、生活拠点

◆歴史・自然拠点

名 称	機能、社会的・文化的役割
あ 法輪寺	歴史文化遺産、生涯学習
い 法起寺	歴史文化遺産、生涯学習
う 史跡中宮寺跡	歴史文化遺産、生涯学習、憩いの場
え 上宮遺跡公園	歴史文化遺産、生涯学習、憩いの場
お 龍田の町並み	歴史文化遺産、生涯学習
か 竜田川緑地	自然資源、憩いの場
き 大和川第一緑地	自然資源、憩いの場
く 斑鳩ため池周辺	自然資源
け 天満池周辺	自然資源

◆生活・文化拠点

名 称	機能、社会的・文化的役割
A 斑鳩町役場	公共サービス拠点
B いかるがホール・図書館	文化、生涯学習、交流の場
C 中央公民館	文化、生涯学習、交流の場
D 西公民館	文化、生涯学習、交流の場
E 東公民館	文化、生涯学習、交流の場
F すこやか斑鳩・スポーツセンター	健康づくり、生涯スポーツ、交流の場
G 天満スポーツグラウンド	健康づくり、生涯スポーツ、交流の場
H 奈良県斑鳩健民運動場	健康づくり、生涯スポーツ、交流の場
I ふれあい交流センターいきいきの里	福祉、健康づくり、交流の場
J 生き生きプラザ斑鳩	福祉、健康づくり、子育て支援、交流の場
K 東老人憩の家	福祉、交流の場
L 西老人憩の家	福祉、交流の場
M 法隆寺五丁地区地域交流館	コミュニティ、交流の場

(2) 拠点を結ぶネットワーク

多様で魅力ある拠点間を結ぶ道路のネットワークとして、「幹線道路」、「法隆寺とJR法隆寺駅を結ぶ道」、「旧街道」、「歴史・自然散策の道」を定め、地域間の交流を促進します。

◆都市構造図

